



シリーズ
第140話

退院前訪問をご存知ですか？

市民病院
5階病棟
(地域包括ケア病棟)

▽市民病院(代表) TEL 22・2171

ID 751376216

【退院前訪問とは】

自宅に退院予定の患者さんが、円滑に在宅生活を送ることができるよう、退院前に医療従事者などが患者さんや家族と一緒に、自宅を訪問することを「退院前訪問」と言います。

自宅で生活し、療養を継続することが可能な環境かなど、患者さんの病状や自宅の家屋構造、ご家族の介護力などを考慮しつつ、医療従事者や介護スタッフ、ケアマネジャーなどで評価や指導を行う退院に向けた準備です。

例えば患者さんが高齢者の場合、入院する前にできていた日常生活の動作が困難になっていたり、認知機能の低下がみられたりするなど、自宅への退院に不安が生じることがあります。そこで、医療従事者が患者

さんの自宅を訪問することで、自宅での生活をシュミレーションし、安心して退院できるよう支援します。

【具体的な調査内容】

退院前訪問は、病院からご自宅へ向かい、車を降りたところから始まります。例えば患者さんが車いすの場合、車を降りてから玄関までのアプローチ方法や、庭に敷いた土や砂利によって不都合が生じないかを調査します。また、車いすを患者さん本人が押す場合と、介護者が押す場合、それぞれのシーンを想定した検証も行います。

住環境の調査では、ベッドとトイレの距離やお風呂の深さ、段差など、どのような動線で移動し、どのような改修が必要なのか調査します。この他にも、ゴミ出しの場所、

買い物をする近所のスーパー、趣味でやっている畑の場所など、その患者さんの生活に直接触れ、より具体的ななりハビリの目標設定もします。



【最後に】

医療従事者や介護スタッフ・ケアマネジャーなどはこの退院前訪問の情報を基に、より具体的な退院支援を計画します。そして主治医をはじめ病棟看護師、外来看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ、かかりつけ医、訪問看護師、ケアマネジャー、サービス提供事業者など地域の関係機関は、今後の医療提供や生活上必要なサービスなどの情報を共有し、安心して安全に生活できるように支援していきます。

退院前訪問をすることで、患者さんも住み慣れた自宅での生活を想像しやすくなるのではないのでしょうか。